



# 2025年12月期第1四半期 決算説明資料

FIG株式会社 2025年5月14日



- 01 | **会社紹介**
- 02 | **2025年12月期第1四半期決算概要**
- 03 | **事業のトピックス**
- 04 | **補足資料**

# 01 | 会社紹介



会社名 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立日 2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者 代表取締役社長 村井 雄司

所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号

資本金 20億円

従業員数 771名 (2024年12月末現在連結)





## モバイルクリエイト

### IoT・ペイメント

- ✓ IP無線システム
- ✓ 動態管理システム
- ✓ 車両配車運行管理
- ✓ ペイメントサービス



## REALIZE

### 装置製造・ロボット

- ✓ 半導体・自動車関連装置
- ✓ 金型・精密加工
- ✓ ロボット

## ケイティーエス

### IoT・スマートホテル

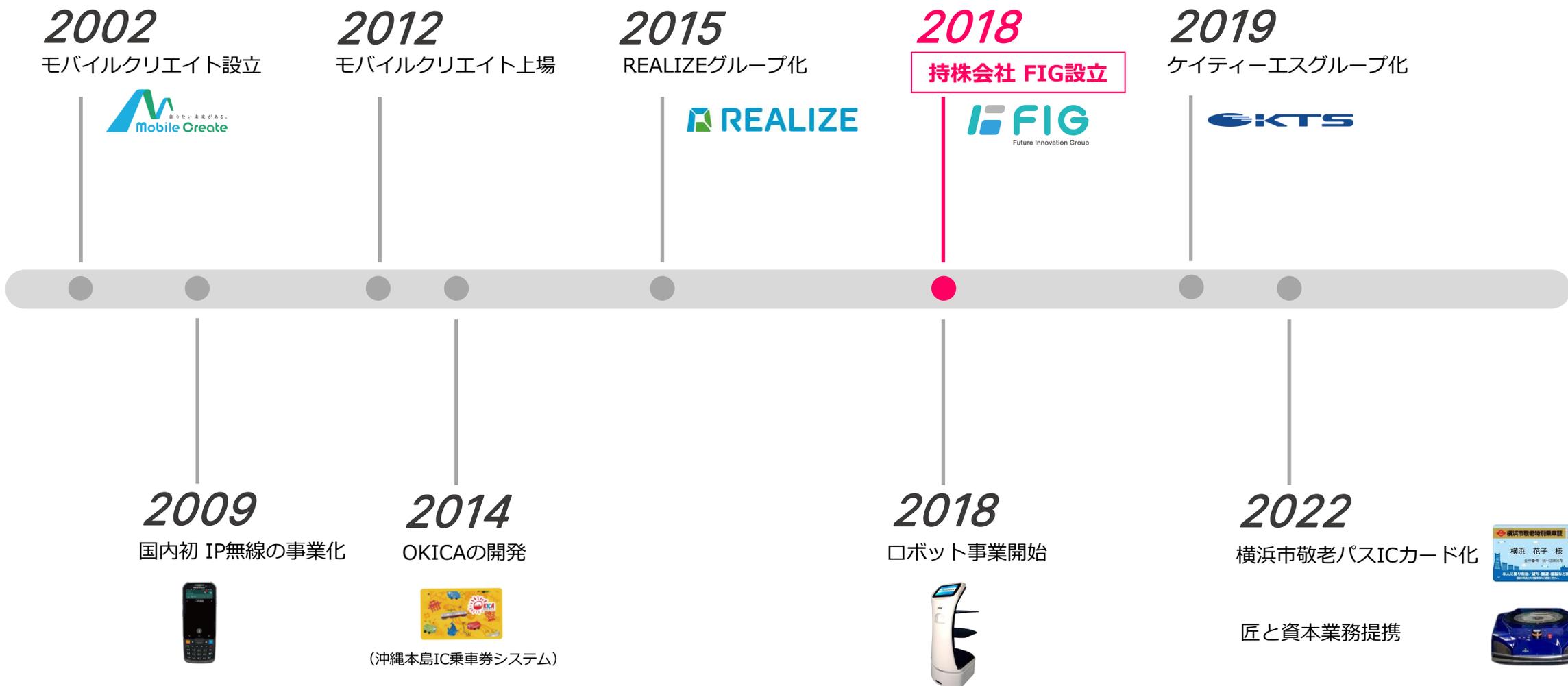
- ✓ マルチメディアシステム
- ✓ IoT基板製造



## その他のグループ会社



- ✓ ドローン
- ✓ ボイスソリューション
- ✓ 物流システム



# 02 | 2025年12月期第1四半期決算概要

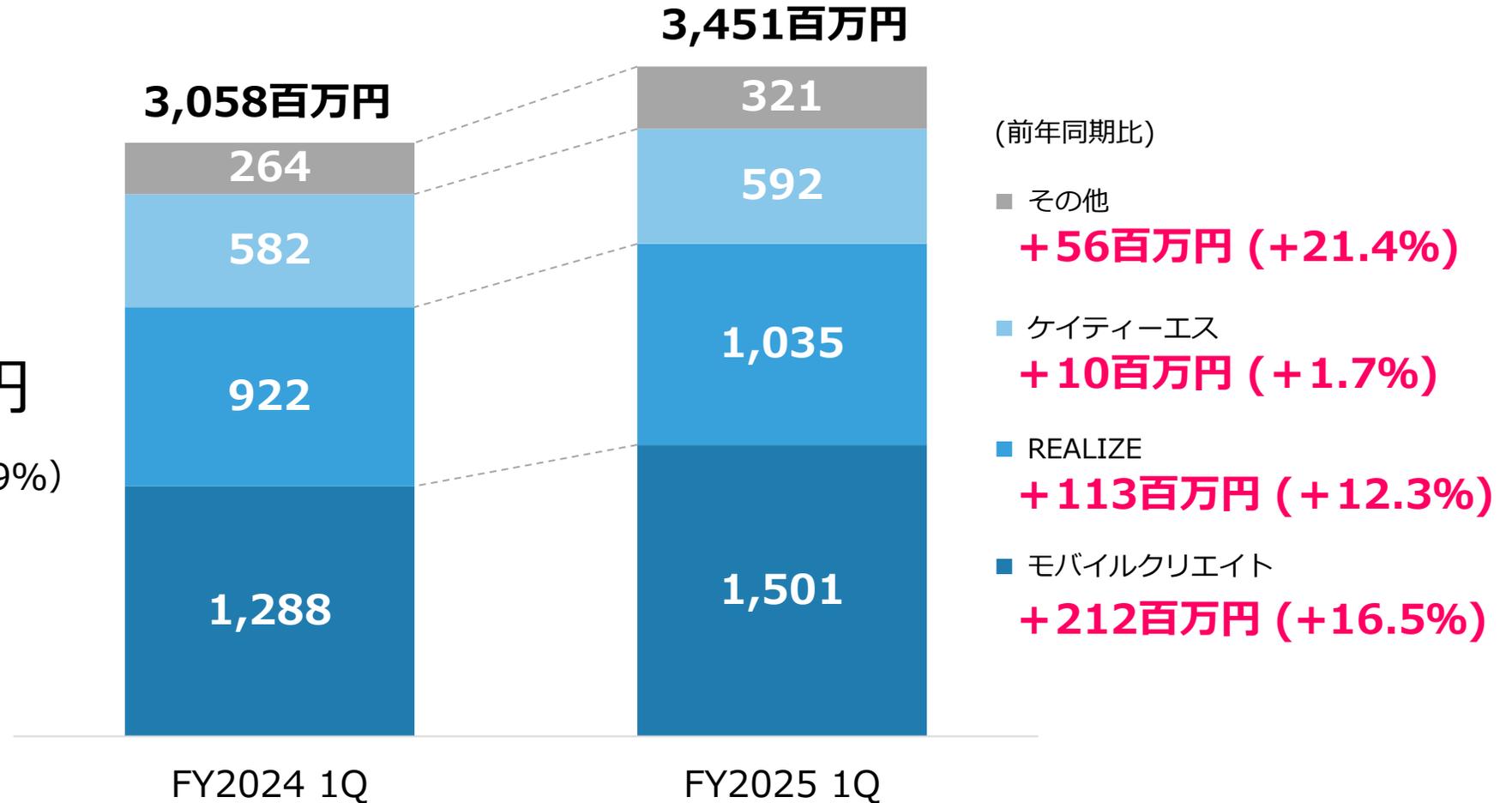
## 1Qは好調なスタートで、モバイルクリエイイトが業績を牽引

- **モバイルクリエイイト**は、すべてのIoT関連サービスが堅調に推移しており、特に**1Qはタクシー向けの配車システムとペイメントが好調**
- **REALIZE**は、足元で業績に苦戦しているものの、搬送ロボットや自動化市場の開拓、先端半導体プロセスへの対応といった**中長期的な成長領域に向けた取り組み**を進めている。米国の新たな関税政策による直接的な影響は限定的であるものの、今後の政策動向や顧客企業のプロジェクト進行、設備投資判断については注視を続け、柔軟かつ機動的に対応していく方針。
- **ケイティーエス**は、アライアンス強化を積極的に推進、**ホテルIoTサービスも回復基調で2Q以降の業績回復**を見込む。
- **搬送ロボット**は、Rapidus社への納品完了。業績本格寄与にもう少し時間を要する見込みであるものの、ロボットメーカーとしての認知度は着実に高まっており、現在は工場や倉庫向けだけでなく、**サービスロボットの導入案件も受注し、事業領域拡大**が進んでいる。引き続き純国産の搬送ロボットを強みとして、国内を代表するロボットメーカーを目指していく。

FY2025 1Q 売上高

# 34 億円

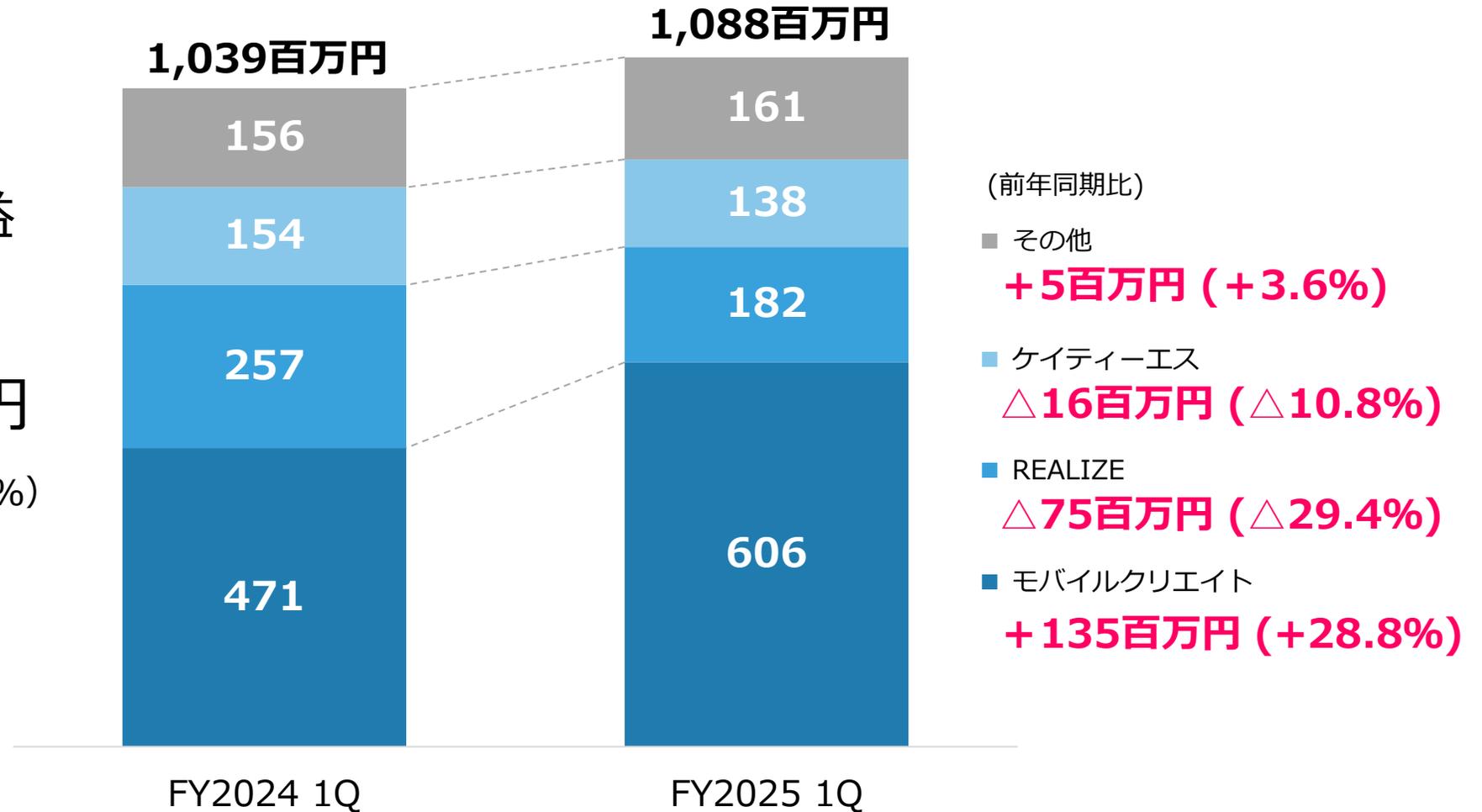
前年同期比：+393百万円 (+12.9%)



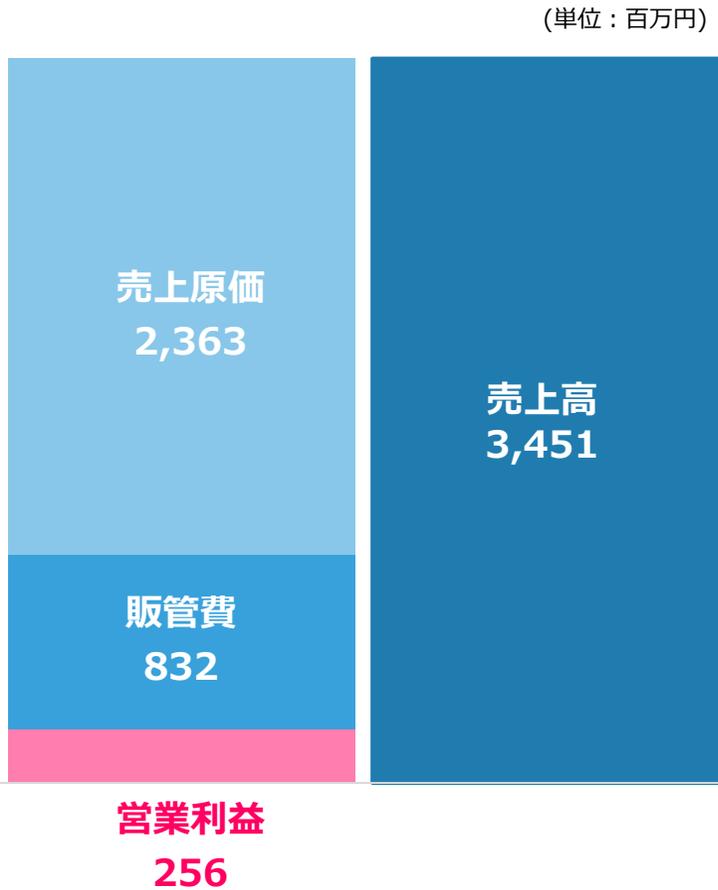
FY2025 1Q 売上総利益

# 10 億円

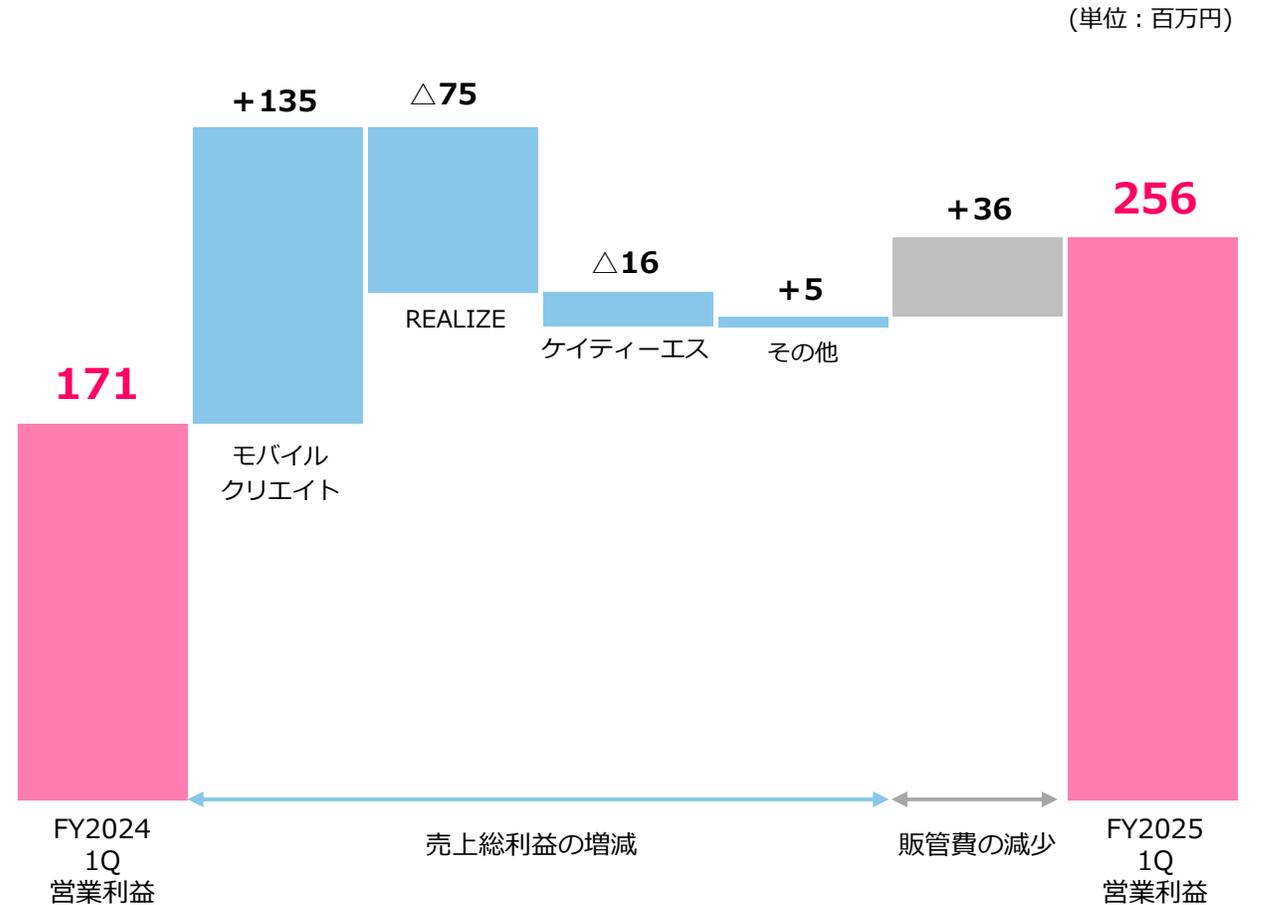
前年同期比：+48百万円 (+4.7%)



## 収益構造

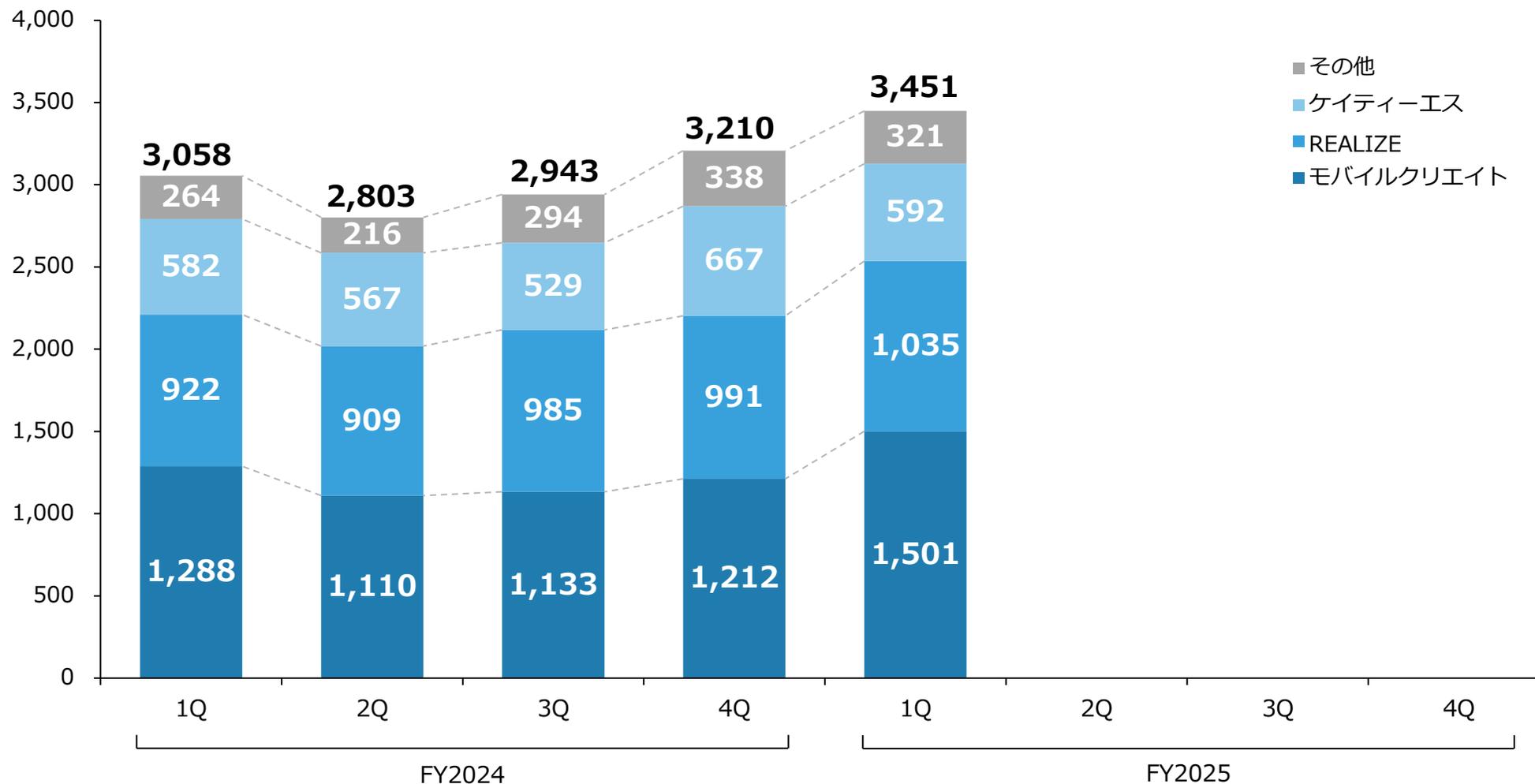


営業利益 **2.5** 億円  
 前年同期比：+85百万円 (+49.6%)



# 主要3社別 売上高 四半期推移

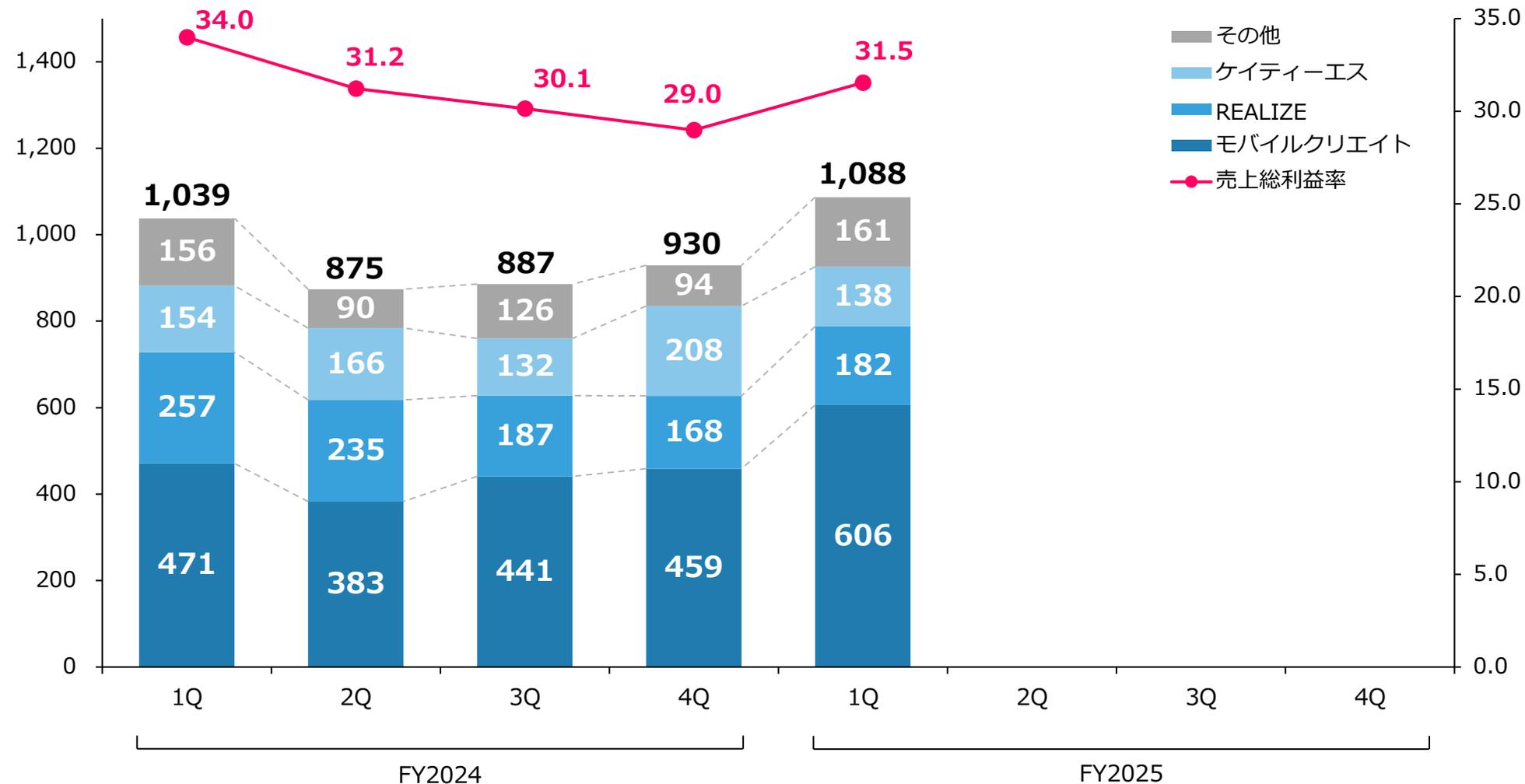
売上高  
(単位：百万円)



# 主要3社別 売上総利益 四半期推移

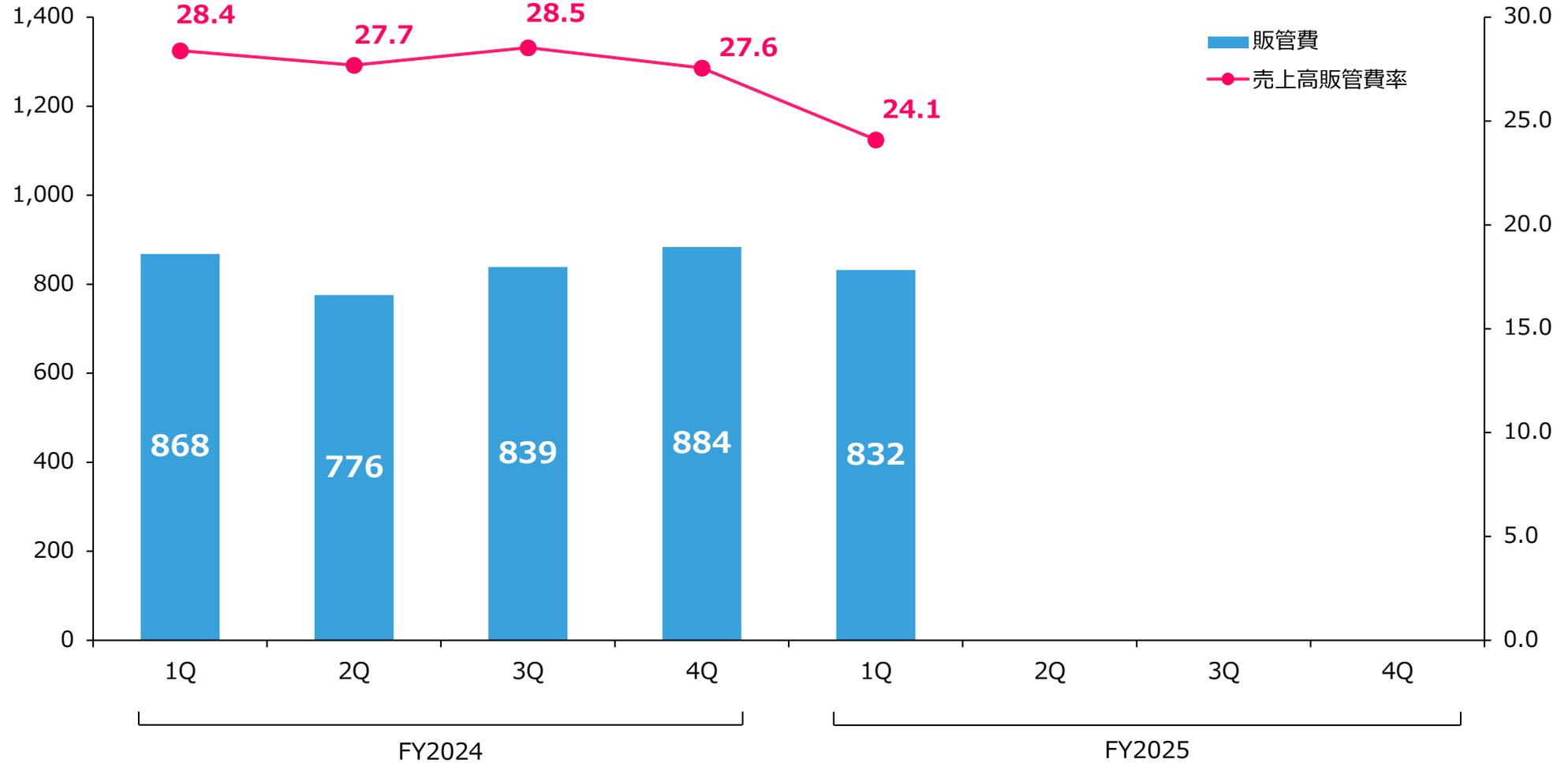
売上総利益  
(単位：百万円)

売上総利益率  
(単位：%)



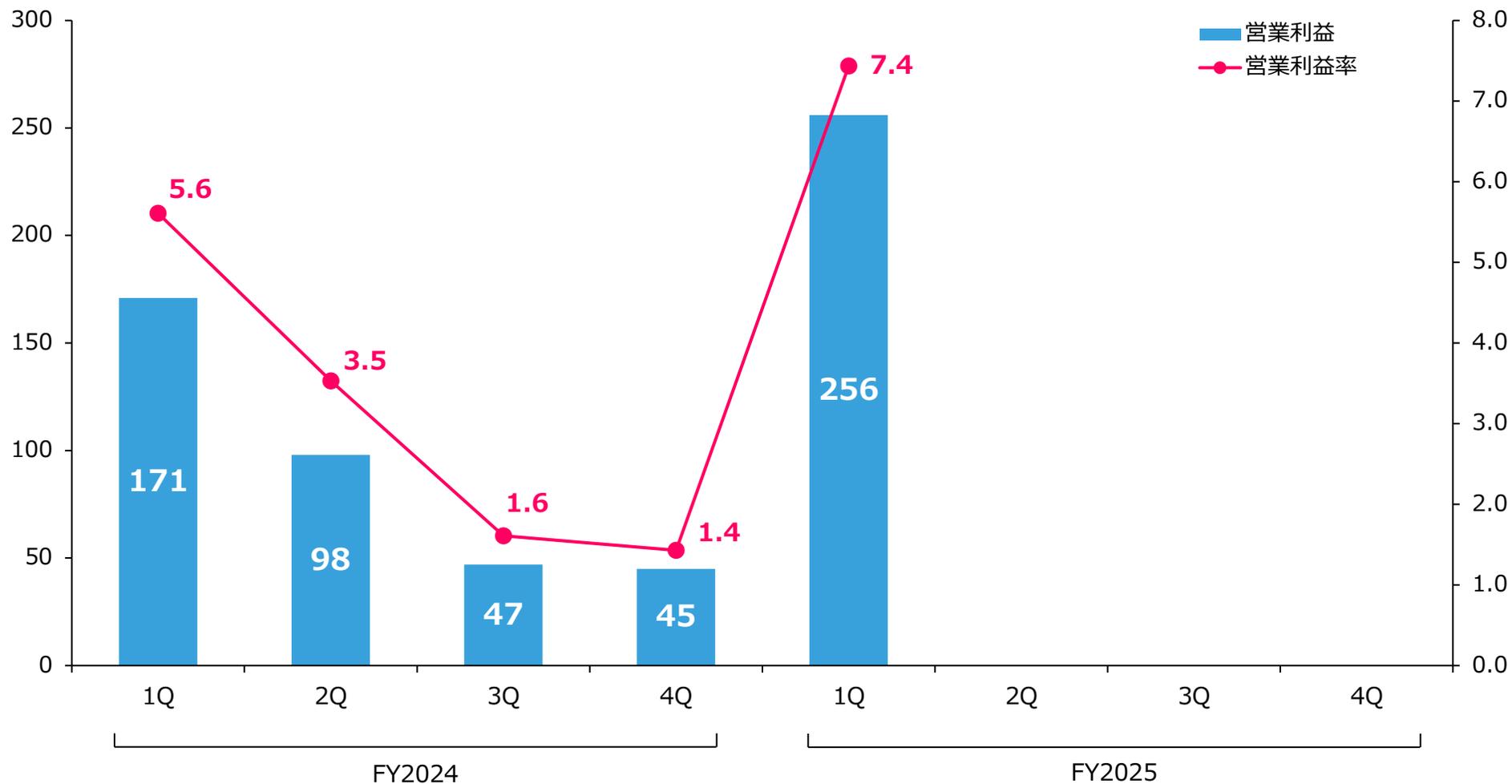
販管費  
(単位：百万円)

売上高販管費率  
(単位：%)



営業利益  
(単位：百万円)

営業利益率  
(単位：%)



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	FY2024 1Q実績	FY2025 1Q実績	前年同期比	通期計画	進捗率
売上高	3,058	3,451	+ 12.9%	13,600~14,500	25.4~23.8%
売上総利益	1,039	1,088	+ 4.7%	4,174~4,580	26.1~23.8%
販管費	868	832	△4.2%	-	-
営業利益	171	256	+ 49.6%	800~1,100	32.1~23.3%
経常利益	171	244	+ 42.7%	800~1,100	30.6~22.3%
最終利益	272	149	△45.3%	552~750	27.0~19.9%

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

✓ 最終利益は前年の特別利益計上の影響により前年同期比マイナス

## 連結貸借対照表

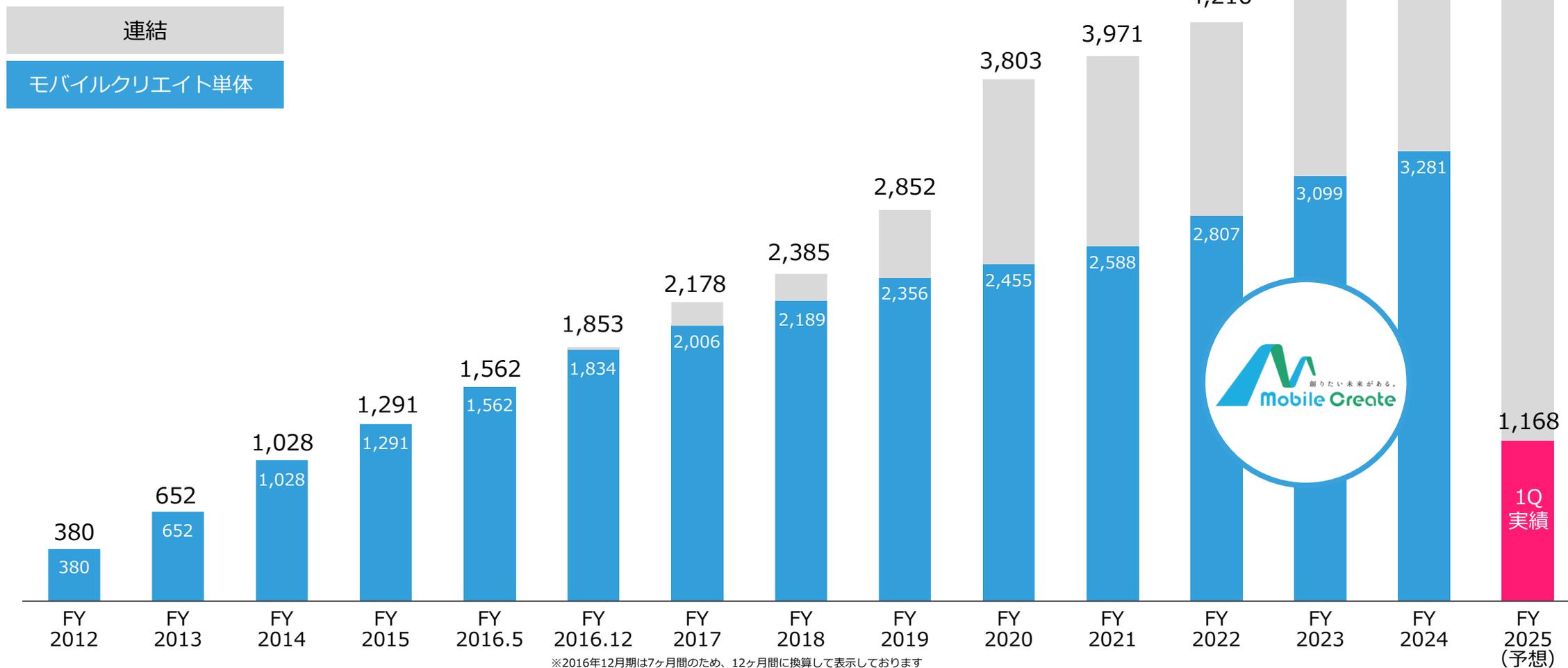
(単位：百万円)

	2024年12月31日	2025年3月31日	増減
現金預金	2,614	1,929	△684
その他流動資産	8,096	8,108	+11
固定資産	5,184	5,186	+2
<b>資産合計</b>	<b>15,895</b>	<b>15,224</b>	<b>△670</b>
有利子負債	4,264	3,912	△352
転換社債	500	500	—
その他負債	2,957	2,671	△286
<b>負債</b>	<b>7,722</b>	<b>7,083</b>	<b>△638</b>
<b>純資産</b>	<b>8,172</b>	<b>8,140</b>	<b>△32</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,895</b>	<b>15,224</b>	<b>△670</b>
自己資本比率	50.6%	52.6%	

(単位：百万円)

## 収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

モバイルクリエイートのサブスクはモビリティ中心に順調に拡大



※2016年12月期は7ヶ月間のため、12ヶ月間に換算して表示しております

# 03 | 事業のトピックス

## 純国産の搬送ロボットと装置連携で自動化市場を開拓



現行機「TiTra G1000」をベースにバージョンアップ

2025年7月販売開始予定

### 「TiTra G1200」を開発（製造：REALIZE）

- ✓ 国産GRID式AGV初の1.2t対応
- ✓ 筐体サイズとスペックは現行機のTiTra G1000をベースにしているため、コンパクトでスピーディな搬送が可能

匠との連携（TiTra）  
トヨタグループなどに導入



Rapidusの  
北海道千歳市の半導体工場へ



納品  
完了

マニピュレータ制御  
SUMCOなどに導入



長崎スタジアムシティ  
サービスロボット実証実験



## 次世代ホテル管理システム（PMS）で急成長SaaSベンチャーのエイジィ ホテル決済サービス連携を目的に 業務提携



- ✓ FIGグループは、**FIG決済プラットフォーム**による**オンライン・オフライン決済**を包括してエイジィに提供
- ✓ エイジィはこれを「ホテルスマート」と連携した**標準決済サービス**として採用
- ✓ FIGグループのホテルマルチメディアシステム「**SiTV（エスアイティービー）**」とエイジィの「**ホテルスマート**」の**相互販売**



「SiTV」  
マルチメディアシステム



「ホテルスマート」  
クラウド型ホテルシステム  
(PMS)

モビリティ業界へのサービス強化を目的とし、**株式会社博報堂と業務提携**  
連結子会社である株式会社オプトエスピーの全保有株式を博報堂に譲渡



- ✓ ボイスソリューションとシナジーのある博報堂がオプトエスピーのベストオーナーであると判断
- ✓ 株式譲渡により経営資源をコア事業と成長投資に集中させる
- ✓ コア事業のモビリティ分野などで博報堂と協業関係を継続させ、事業拡大に取り組む

## 独自Pay（ハウス電子マネー）決済機能を追加、5月1日より販売

ペイクラウドホールディングス（証券コード：4015）のグループ会社である  
バリューデザイン社が提供するValue Card※にも対応



マルチ決済端末  
「PT-750」

 コード決済

 クレジット

 電子マネー

- ✓ レジオペレーション効率化
- ✓ 汎用決済導入時の個別契約・取引不要
- ✓ キャッシュレス決済手段の拡充
- ✓ POS機能などの様々なオプション選択が可能

NEW

独自Pay  
(ハウス電子マネー)  
決済機能追加

キャッシュレスを導入する店舗様の  
再来店促進・効率化・工数削減

## 日本初 携帯電話の通信網を用いて機内の通信オンライン化を実現

STC（追加型設計承認）を取得「エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-3型」に「IM-970」を搭載



ヘリコプター  
に搭載



「エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-3型」



イリジウム利用可能な  
航空機専用モデル



航空機のリアルタイムな  
位置を地上で確認



LTE経由で  
インターネット接続



IP無線機で  
地上と通信が可能

※ヘリコプター機内への搭載については、取得したSTCの設計以外の方法で搭載する場合、ヘリコプターの機体毎に航空局による検査・申請が必要となります。  
※取得したSTCの設計で搭載する場合は、検査の一部を省略又は、セントラルヘリコプターサービス等の認定事業場で搭載（申請不要）が可能となります。  
※「エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-3型」の画像はセントラルヘリコプターサービス株式会社提供です。

## ciRoboticsオリジナルの農薬散布ドローン

# 新機種 R-10



<p>10L タンク容量</p>	<p>2ha 散布能力</p>	<p>最大5m 散布幅</p>	<p>25分※ 飛行時間</p>
----------------------	---------------------	---------------------	----------------------

※ 積載なし・バッテリー温度 25℃・1cell あたり 4.2V ~ 3.5V

### 自社製フライトコントローラー



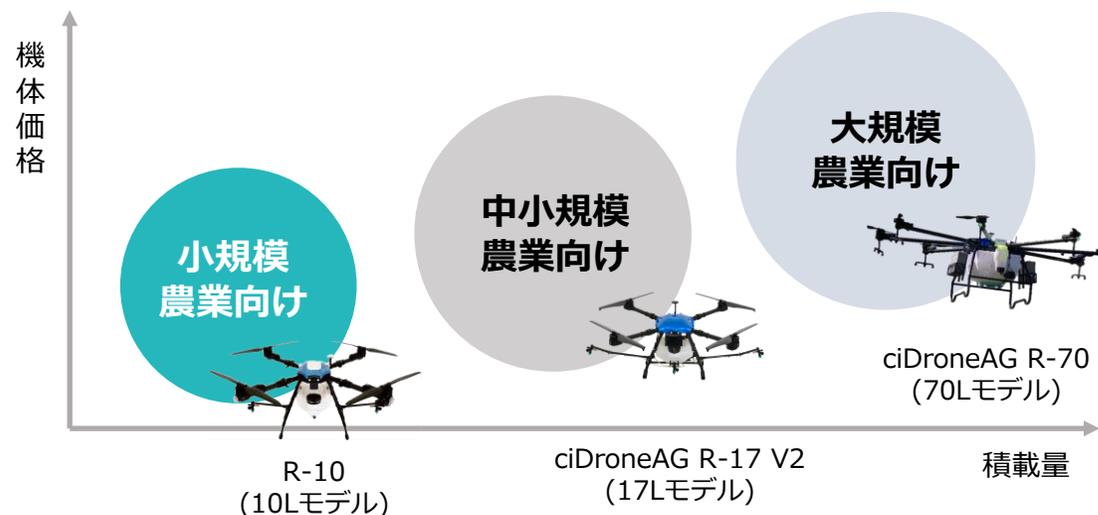
独自開発のフライトコントローラーにより、高い安定性と操作性を実現。精密な飛行制御で、正確な農薬散布を可能にします。

### RTK対応



高精度で位置情報を測定できるRTKに対応し、センチメートル単位の測位精度を確保。GPS単独の測位よりも誤差が少なく、正確なルート飛行や均一な農薬散布が可能になります。

自社製ドローンのラインナップとターゲット市場



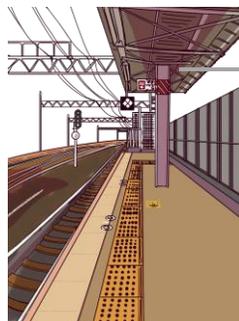
## デジタルサイネージとロケーションシステムの納入決定

約17,000台に導入したバス向け運行管理システムで培ったノウハウを活かしたソリューション

東京都交通局より初受注

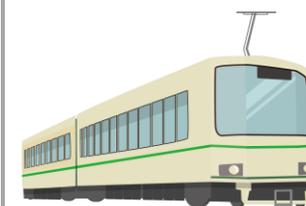
東京都交通局（都電荒川線） 受注概要

デジタルサイネージ  
(停留場表示器)



停留場の  
**58か所**  
に設置予定

ロケーション装置  
搭載車載器



都電荒川線の  
**33両**  
に納入予定

# 04 | 補足資料

IoT+モノづくりの技術で安全・効率・快適なヒトとモノの移動を支える  
+ 人手不足を解消するため自動化への取り組みを強化

タクシー配車    バスロケーション  
トラック動態管理    ドローン

IP無線  
**移動通信**

**モビリティ**

公共交通運賃決済  
**ペイメント**

# 移動

今後注力分野 (工場・倉庫)

# + 自動化

装置・ロボット・上位システム連携

**宿泊**  
マルチメディアシステム

**マテハン**  
搬送ロボット (AGV・AMR)

ソフトウェア × ハードウェア × 通信の技術力に強み

✓ **IP無線**のパイオニア（物流メインに**車載導入No.1**）

✓ 交通分野に強い（タクシー配車とバス運行管理 + **ペイメントサービス**）

**タクシー**システム導入台数**27,700**台（全国約20万台の**14%**）※法人・個人タクシー

**バス**システム導入台数**17,400**台（全国約5.5万台の**31%**）※乗合バス

✓ モバイルクリエイトの**サブスク売上**（通信契約**15万回線**）



✓ 情報通信業（バーチャル） + 製造業（リアル）で**国産搬送ロボット**を展開

- ✓ **モバイルクリエイトは過去最高業績を更新見込**（サブスク強化）
- ✓ 2025年の**業績予想はレンジ**（半導体市場の在庫調整や自動車の生産動向など**外部環境の好転時期により変動**）
- ✓ ロボット・自動化市場の開拓などテーマの多い**REALIZEの成長がグループ成長の鍵**となる

（単位：百万円）

	グループ会社	FY2024	FY2025	YoY
売上高	<b>全社</b>	<b>12,016</b>	<b>13,600~14,500</b>	<b>+13.2% ~ +20.7%</b>
	モバイルクリエイト	4,746	5,000~	-
	REALIZE	3,808	4,800~	-
	ケイティーエス	2,347	2,700~	-
	その他	1,113	1,100	-
<b>売上総利益</b>		<b>3,733</b>	<b>4,174~4,580</b>	<b>+11.8% ~ +22.7%</b>
<b>営業利益</b>		<b>363</b>	<b>800~1,100</b>	<b>+119.9% ~ +202.4%</b>
<b>最終利益</b>		<b>△1,412</b>	<b>552~750</b>	-

※最終利益=親会社株主に帰属する当期純利益

## まずは主要3社をしっかりと成長路線に乗せる

事業ポートフォリオの見直しについても継続的に行い、選択と集中やグループ再編等も検討

### モバイルクリエイト

オーガニック成長+AI活用で  
グループを牽引

IP無線特需獲得  
サブスク拡大

ペイメント  
公共交通分野  
+  
新市場開拓

IoT・AI  
新サービス開発

### REALIZE

チェンジとチャレンジで  
拡大路線へ舵取り

ロボット開発強化  
自動化装置市場開拓

海外市場  
への取り組み

先端半導体工程  
への取り組み

新製品、金型、  
加工部品強化

### ケイティーエス

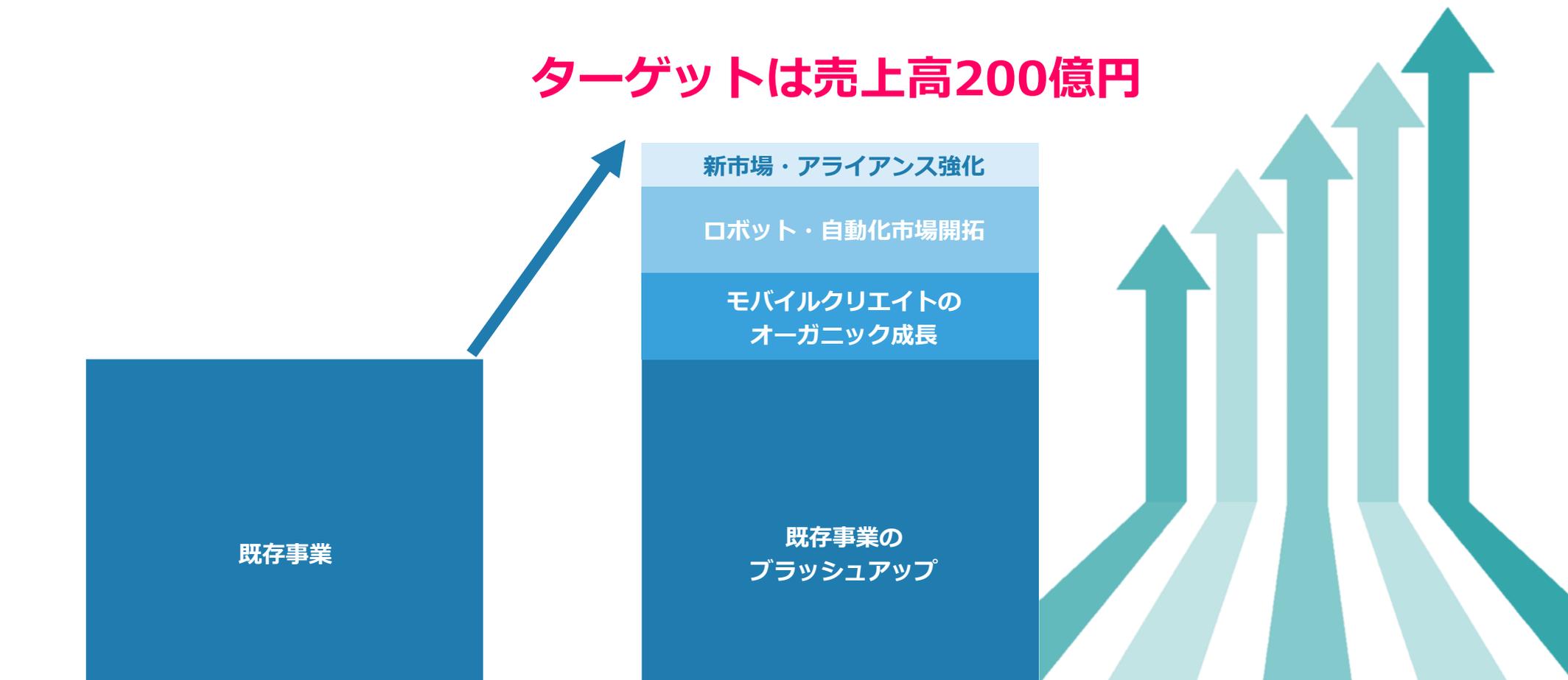
協業・提携・OEM/ODMなど  
アライアンス強化

SiTV導入強化  
チェーンホテル展開  
+  
新市場開拓  
(アライアンス強化)

ペイメントサービス  
のホテル展開  
(アライアンス強化)

IoT基板の  
OEM/ODM拡大  
(アライアンス強化)

## 中期経営計画（FY2022－FY2025）は、新たな成長基盤の確立ステージ 次のステージでの成長イメージ

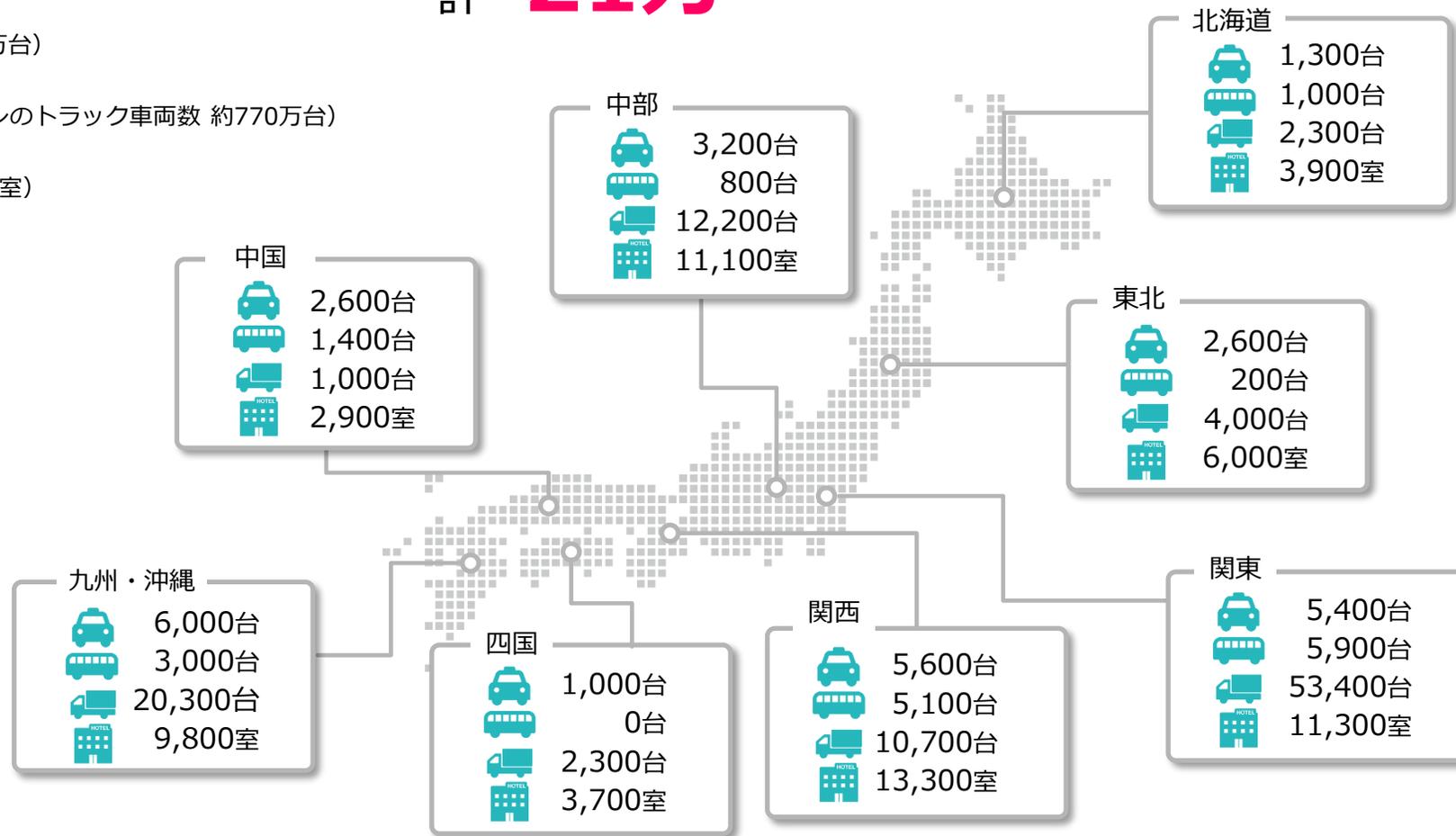


## 顧客基盤（月額サービス契約数）

2024年12月時点

-  タクシー 約27,700台  
(シェア14%、タクシー車両数 約20万台)
-  バス 約17,400台  
(シェア31%、乗合バス車両数 約5.5万台)
-  物流他 約106,200台  
(IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約770万台)
-  ホテル 約62,000室  
(シェア3.5%、ホテル客室数 約177万室)  
※旅館・ホテル営業の客室数

計 **21万**





- 【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
- 【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
- 【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。